

今後の奈良県立高等学校入学者選抜について

奈良県立高等学校入学者選抜において、下記1～3を令和8年度入学者選抜（令和7年度実施）から導入します。

1 現行の特色選抜と一般選抜を、共通選抜に一本化

現行

- 特色選抜（2月中旬）
専門学科や特色あるコース等で実施
- 一般選抜（3月上～中旬）
特色選抜で募集人員の全てを募集する学校以外で実施

令和8年度入学者選抜から

- **共通選抜（3月上旬）**
原則として全ての学校で実施
学力検査は5教科を実施

2 共通選抜において、第2希望校申告を導入

- 出願者が募集人員に満たない学科・コースについて、第2希望者の合否判定を行う。
- 専門学科や特色あるコース等は、募集人員の一部について、第2希望者を含めた合否判定を行う。

（例） 募集人員 200 名中、160 名は第1希望者のみで合格者を決定。
その後、残りの40名を第1希望者・第2希望者を合わせて合否判定。

3 調査書における学習成績の取扱いを第1学年からとし、観点別学習状況の評価も活用

標準的な調査書の学習成績の取扱いは以下のとおりとします。

現行（合計135点）

- 第1学年：なし
- 第2学年：5段階評定×9教科＝45点
- 第3学年：5段階評定×9教科×2倍＝90点

令和8年度入学者選抜から（合計144点）

- 第1学年：**観点3**（※）3段階評価×9教科＝27点
- 第2学年：**観点3**（※）3段階評価×9教科＝27点
- 第3学年：5段階評定×9教科×2倍＝90点

※学習状況の評価に用いる3つの観点
観点1：知識・技能
観点2：思考・判断・表現
観点3：主体的に学習に取り組む態度
（5段階評定は、上記3つの観点をバランスよく合わせたもの）

※学力検査の配点は、
50点×5教科＝250点
（現行の一般選抜のとおり）

それぞれの観点は、次のようなことを見取ります。

観点1：知識・技能

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況。

それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか。

観点2：思考・判断・表現

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか。

観点3：主体的に学習に取り組む態度

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、**自らの学習を調整**しながら、学ぼうとしているか。

参考

「今後の高等学校入学者選抜に関する説明動画」

URL： <https://www.youtube.com/watch?v=sgF1CGlInOI>

